

令和 5 年 度
(2 0 2 3 年 度)
事業報告及び決算書

エコライフめぐろ推進協会

目 次

令和5年度（2023年度） 事業報告

1	令和5年度（2023年度）を終えて	1
2	令和5年度（2023年度）における主な取組み	2
3	協会の組織運営等	6
4	各事業報告	
(1)	自主事業報告	10
(2)	目黒区エコプラザ指定管理事業報告	23

令和5年度（2023年度） 決算

令和5年度（2023年度）決算書	40
------------------------	----

令和5年度（2023年度）
事業報告

1 令和5年度（2023年度）を終えて

令和5年度（2023年度）は、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に引き下げられ、区民生活もコロナ禍前の日常を取り戻し始めました。一方で、夏の平均気温は気象庁が統計を開始した1898年以降、最も高くなるなど気候変動が広く意識された一年でもありました。

エコライフめぐろ推進協会の事業運営は、基本的な感染対策を取りつつ、「環境講演会」や「エコまつり・めぐろ2023」など区民等に直接ご参加いただく事業を計画通り実施することができました。しかし、環境保全団体への助成には応募団体がありませんでした。コロナ禍により3年近く区民生活に制限があった中で、活動を活発化し充実させていくためには、まだ時間がかかるのかもしれません。

コロナ禍を経て、エコライフめぐろ推進協会の事業運営も変化しました。この間、対面での事業実施がかなわなかった状況の中で、ウェブサイトによる情報発信に注力してまいりました。協会ホームページやめぐろスマートライフは、ウェブサイトの特性を活かし、より見やすく、分かりやすい運用に努めるとともに、外部のウェブサイトとリンクするなど幅広い情報発信に取り組みました。令和6年3月からは、Instagramの試行運用を開始し、更に多様な年代の区民等がエコライフめぐろ推進協会の活動を知り、参加していただけるよう取組を強化しています。

目黒区エコプラザ指定管理事業については、資源・エネルギーの有効利用、環境負荷の低減に関する講座開催、区民等の活動支援及び情報提供などに取り組んでまいりました。また、令和5年度は令和6年度から10年度にかけて再度目黒区エコプラザ指定管理者の指定議決を受けました。引き続き運営評価委員会の要望や指摘、利用者等の声を踏まえ事業の改善に取り組むとともに、施設の適正かつ効率的な管理運営に努めてまいります。リサイクルショップの売上は、徐々に回復しているものの、コロナ禍前の水準には戻っていません。令和6年度には、様々な工夫により収益増を目指してまいりたいと考えております。

令和5年3月に改定された区の「目黒区環境基本計画」では、エコプラザの活用によりゼロカーボンシティの実現に向けて積極的な環境学習を推進するとしております。エコライフめぐろ推進協会におきましても指定管理者としてエコプラザの機能を最大限に発揮できるよう区と連携して事業を進めてまいります。

令和6年度は、エコライフめぐろ推進協会の前身であるリサイクルめぐろ推進協会設立から30年目を迎える節目の年になります。これまで地域でリサイクル活動、環境保全活動に関わってきた多くの皆様に敬意を表するとともに、地域における今後の環境保全活動がさらに充実するよう職員共々精力的に事業に取り組んでまいります。

2 令和5年度（2023年度）における主な取組

令和5年度（2023年度）エコライフめぐろ推進協会の主な取組は、以下のとおりです。

（1）自主事業

ア 環境講演会

区民に環境問題への関心を高めてもらうことを目的に例年開催しています。令和5年度は「あなたのCO₂排出量はどのくらい？脱炭素の暮らしとまちの未来」をテーマに行いました。第1部は「脱炭素型ライフスタイルへの転換」と題して、国立環境研究所主任研究員の小出瑠氏を講師に迎え実施しました。小出氏は、脱炭素・循環型社会に向けた行動変容の研究に取り組み、脱炭素ライフスタイルの選択肢を提案するWebアプリ「じぶんごとプラネット」の開発にも携わっています。講演では、気候変動のメカニズムや将来予測、カーボンフットプリント、CO₂を削減するための方法など、脱炭素への転換について講演をいただきました。

第2部はワークショップ「みんなで取り組む脱炭素アクション」と題して、当日参加された方々がそれぞれ各自のCO₂排出量を把握し、個人と地域で行える脱炭素の取組を考えるワークショップを行いました。

アンケートには、自身のカーボンフットプリントの意外な発見や、脱炭素が身近な問題として認識されたことなどの感想が寄せられました。

この様子はYouTubeで配信しました。

イ めぐろスマートライフ

環境にやさしい行動を賢く楽しみながら実践していくライフスタイルを「めぐろスマートライフ」と名付け、賢い消費、資源の有効活用、省エネなどを日常生活の中で、誰もが・楽しく・簡単にできる情報をウェブサイトから発信しています。区民等のライター（eco ライフライター）にも区民目線からの身近でエコな記事が寄稿されています。

令和5年度の閲覧数は約8万8千回と、5年前と比較して約4倍に増加しました。また、デバイス別訪問者数で見ると、モバイルによる閲覧が約76%を占めており、手軽に関心のある情報にアクセスできる情報ツールとして認知が進んでいるものと思われます。

ウェブサイトのアクセス解析によると20代から40代の閲覧が最も多くなっています。若い世代の環境への意識の高まりとともに、この世代が興味を持てる記事を意識的に取り入れ「フェイスブック」や「クックパッド」、更に環境省

や東京都環境局が運営するサイトへ情報掲載するなど効果的な運用を今後も行ってまいります。

ウ フードドライブ

我が国の1年間の食品ロスは523万トン（令和3年度農水省推計値）を超え、このうち家庭系食品ロスは約244万トンとされています。協会では、環境面から家庭系の食品ロスに着目して活動し、令和3年度からフードドライブの窓口を事務局に常設して食品の受付、食品ロス削減の啓発等を行っています。常設窓口も開設3年目を迎えました。令和5年度は、3,790点、1,273kgもの食品の寄付を受けました。令和4年度と比べると、寄付品数、持ち寄っていたいた方の人数は、ともに減少しましたが、食品ロス削減に対する区民等の意識啓発は引き続き行ってまいります。寄付いただいた食品は、区内の福祉施設などへ配布いたしました。

エ エコまつり・めぐろ 2023

エコまつり・めぐろ 2023 は開催時間をコロナ禍前と同様に15時まで開催し、約2,500人の方々にお越しいただきました。当日は31団体が出展し、各団体のスタッフと来場者の皆様が「めぐろから始めよう！環境にやさしい未来」をテーマに親しく交流し、改めて環境問題に対する意識を高めるイベントとなりました。前年に引き続き、各出展ブースにはSDGs（持続可能な開発目標）の17目標のアイコンを掲げ、来場者クイズラリーをとおして私たちの暮らしや環境問題に関わる「SDGs」について学んでいただきました。

当日は午前中雨に見舞われましたが、午後には天気も回復し、屋外展示のソーラーカーの試乗や起震車、スケルトンパッカー車の体験ができるようになりました。来場した子どもたちのアンケート結果を見ると、自然エネルギーの体験やどんぐり工作など、身近な自然について触れ合う展示が好評でした。

(2) 目黒区エコプラザ指定管理事業

ア エコプラザ講座、出前講座等の開催

(ア) 自然エネルギーを体験しよう

「エコまつり・めぐろ 2023」へ出展し、自然エネルギー（再生可能エネルギー）の啓発としてソーラーカーの試乗や手回し発電で動くNゲージの体験を行い、自然エネルギーの力を体感していただきました。

(イ) 親子ふれあい自然体験 in ふなばし三番瀬海浜公園

東京湾の最北に位置する「ふなばし三番瀬海浜公園」でビーチコーミン

グ（海岸での漂着物収集）や生き物を観察することで、海で起きている環境問題について考えるきっかけとなりました。また、三番瀬環境学習館を見学して、江戸時代初期には三番瀬で採れた新鮮な魚介類を将軍家に納めていたことなど、三番瀬の歴史や生息する生き物について学びました。

（ウ）小学校・児童館等への出前講座

ごみ・リサイクルについて授業で学ぶタイミングとなる小学校4年生を対象に、目黒区の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を深く理解し、実践を促すための手引き冊子「eco エコ大作戦」（協会作成）の内容に沿って行う出前講座です。令和5年度は、希望のあった小学校2校に出前講座を行い、10か所に「めぐろ eco エコ大作戦」を配布しました。

また、依頼のあった8か所の児童館では子育てをする中で楽しくエコライフが送れるよう、そのきっかけづくりのための講座を実施するとともに、来館者の増加に向けて、エコプラザのPRも行いました。夏休み等学校の長期休業中の期間に学童保育クラブに向けて出前講座の案内を送付し、2館で実施しました。

イ 情報室の運営、情報室での普及啓発

（ア）サロン・エコライフ

エコプラザを訪れた来館者が気軽に学習し、成果を持ち帰れるよう来館者層に合わせたミニ学習会（サロン・エコライフ）を開催し、「資源とごみの分け分けゲーム」や「紙パック de 紙すき体験」などを行いました。「紙パック de 紙すき体験」では、東京大学環境三四郎（環境問題について考え行動する学生とその卒業生による団体）による紙パックのリサイクルについて説明がありました。

（イ）展示（図書コーナー及び階段下展示コーナー）

環境や3Rに関する情報提供を行いました。2か月ごとにテーマを設定した展示を企画し、7月、8月は夏休みの自由研究のヒントに図書等の紹介もしました。

ウ リサイクルショップの運営

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行となりましたが、引き続き、物品の受け入れは予約制とし、受け入れ品も30点以内を継続しました。ショップの販売額は、令和4年度を上回りましたが、新型コロナウイルス感染症流行以前の令和元年度と比較すると約24%の減という状況です。

リサイクルショップは、リユース、リデュースを「啓発」していくことを目的としておりますので、必ずしも収益を高めていくことだけが目的ではありません

ません。しかし、リサイクルショップの収益は、環境保全団体支援など協会のような事業に全て活用する重要な財源です。エコライフめぐろ推進協会としては、更に利用者が利用し易く、親しみの持てるショップとなるよう改善に取り組むとともに、リサイクルショップの事業主旨を踏まえ、協会事業の貴重な財源として有効活用して参ります。

エ 環境推進員（エコサポーター）養成講座の開催

環境推進員養成講座は、地域で環境負荷の軽減に関する活動を行う人材育成を目的とした事業です。令和5年度は、延べ6回の講座を開催し、目黒川沿川のウォーキングや野鳥観察、ごみ問題に関する映画の鑑賞と解説、食品ロスや衣類から考える3Rの講義の受講を経て、グループ討議・意見交換などを行いました。

今期（14期）は7名の方が修了し、修了証を交付しています。

なお、講座開始に先立ち、過年度受講者で構成する企画運営委員会を立ち上げ、講座の方向性や内容などについて検討しました。

この講座修了者はエコサポーター登録後に環境保全活動をすることにより環境推進員に登録できます。令和4年度に修了した第13期修了生については、令和5年度に2名の方が環境推進員に登録されました。

（3）経営基盤の充実

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことなども踏まえて多くの事業を実施することができました。また、コロナ禍を経て協会ウェブサイトやめぐろスマートライフを活用した情報発信や動画の配信、外部のウェブサイトとのリンクなど情報発信の多様化に努めました。こうした取組を進めることによって賛助会員の増につなげていく必要があると考えています。前年度に比べ、賛助会員は法人会員が2法人の減、団体会員が5団体の増、個人会員が1名の減、協力会員は法人会員が4法人の減、団体会員が5団体の減、個人会員が2名の減でした。会員は協会の強力なサポーターです。協会活動に広く賛同いただけるよう、引き続き会員増に取り組んでまいります。

3 協会の組織運営等

(1) 理事会及び運営協議会の開催状況

理事会及び運営協議会の開催状況は以下のとおりです。

理事会においては、議案及び協議事項についてはすべて可決されました。

また、運営協議会においては、諮問事項についてはすべて承認され理事会に答申されました。

ア 理事会の開催状況

回	開催日	議 題
1	4月3日(月)	議案第1号 理事長の選任について 議案第2号 副理事長の選任について 議案第3号 常務理事の選任について
2	6月6日(火)	議案第4号 運営協議会委員の選任について ＜協議事項＞ ・令和4年度事業報告及び決算書(案)の運営協議会への諮問について
3	6月15日(木)	議案第5号 令和4年度事業報告及び決算書(案)について
4	7月18日(火)	議案第6号 目黒区エコプラザ指定管理者の応募について ＜報告事項＞ 目黒区エコプラザ指定管理者の令和4年度運営評価結果について
5	3月5日(火)	議案第7号 追加日程 運営協議会員の選任について ＜協議事項＞ 令和6年度事業計画及び収支予算(案)の運営協議会への諮問について ＜報告事項＞ 「エコまつり・めぐろ 2023」の実施結果について
6	3月26日(火)	議案第8号 令和6年度事業計画及び収支予算(案)について 議案第9号 追加日程 運営協議会員の選任について

イ 運営協議会の開催状況

回	開催日	議 題
1	6 月 13 日(火)	議案第 1 号 議長の選任について 諮問第 1 号 令和 4 年度事業報告及び決算書(案)について
2	8 月 29 日(火))	<報告事項> ・目黒区エコプラザ指定管理者の申請について ・目黒区エコプラザ指定管理者の令和 4 年度運営評価結果について
3	3 月 26 日(火)	諮問第 2 号 令和 6 年度事業計画及び収支予算 (案) について <報告事項> ・「エコまつり・めぐろ 2023」の実施結果について

(2) 協力会員・賛助会員数 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

種 別		会 員 数			口 数		
		当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減
賛助会員	個 人	31	32	△1	37	39	△2
	団 体	15	10	5	19	15	4
	法 人	17	19	△2	32	39	△7
協力会員	個 人	100	102	△2			
	団 体	13	18	△5			
	法 人	3	7	△4			

(3) 役員及び運営協議会委員名簿

ア 理事名簿

令和 6 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	選 出 団 体
理事長	相馬 熊郎	東京商工会議所目黒支部
副理事長	竹内 良信	目黒区産業連合会
常務理事	幡野 豊	エコライフめぐろ推進協会
理 事	有田 俱通	学識経験者（環境カウンセラー）
理 事	村杉 幸子	学識経験者（環境教育アドバイザー）
理 事	望月 昇	NPO法人 目黒ユネスコ協会
理 事	原 清隆	目黒区商店街連合会
理 事	高木 雅	目黒区住区住民会議連絡協議会

任期：令和 7 年 3 月 31 日まで

理事総数 8 名

イ 監事名簿

令和 6 年 3 月 31 日現在

氏 名	選 出 団 体
森主 悟	東京税理士会目黒支部
大野 容一（会計管理者）	目黒区

任期：令和 7 年 3 月 31 日まで

ウ 運営協議会委員名簿

令和 6 年 3 月 31 日現在

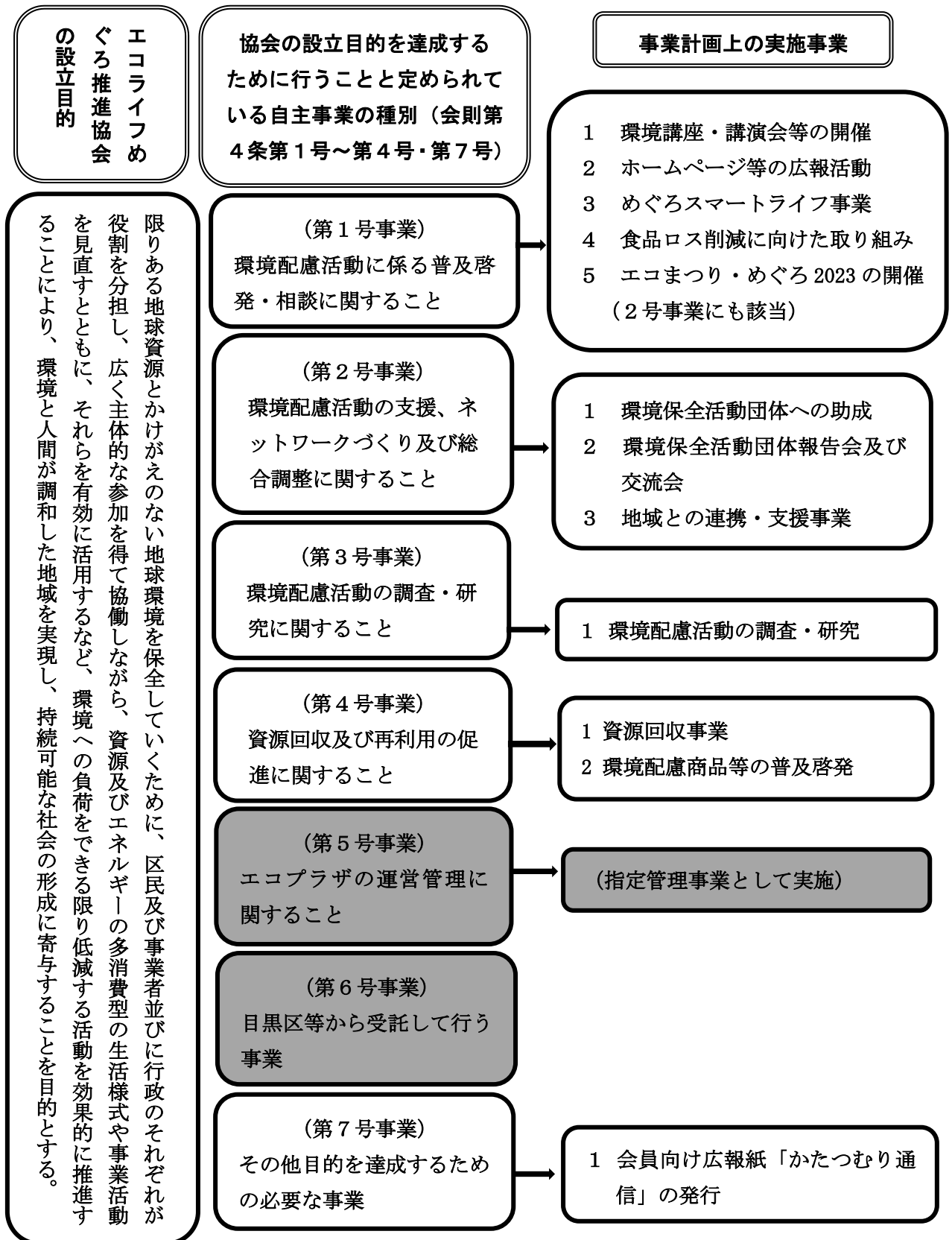
選 出 区 分	氏 名	推 薦 団 体 等
区議会議員	木村 あきひろ	目黒区議会
区議会議員	山村 まい	目黒区議会
区議会議員	関 けんいち	目黒区議会
区議会議員	後藤 さちこ	目黒区議会
学識経験者	神田 学	学識経験者（東京工業大学教授）
区教育委員会	加藤 明恵	目黒区立小学校長会（田道小）
区教育委員会	鴻野 祐子	目黒区立中学校長会（第九中）
環境活動実践団体	松本 猛	目黒区町会連合会
環境活動実践団体	佐熊 とよ子	目黒清掃協力会
環境活動実践団体	井上 加寿子	目黒区消費者グループ連絡会
事業者団体	堀内 早紀子	(公社)東京青年会議所目黒区委員会
事業者団体	佐藤 依里	日本チェーンストア協会関東支部
事業者団体	小澤 孝行	目黒建設業防災連合会
事業者団体	石田 琢志	東京建築士会目黒支部
公益事業者団体	藤田 恭子	東京ガス(株) 東京中支店
公益事業者団体	南 輝行	東京電力パワーグリッド(株) 品川支社
公募委員	岡 聖記	協会会員・エコサポーター公募
公募委員	雑賀 成元	協会会員・エコサポーター公募

任期：令和 7 年 3 月 31 日まで

自主事業報告

※ 網掛け部分は受託事業で自主事業ではない

令和5年度（2023年度）自主事業計画体系図



令和 5 年度 自主事業報告

1 会則第 4 条第 1 号事業：環境配慮活動に係る普及啓発・相談に関すること

(1) 講座・環境講演会等の開催

事業名	環境講演会「あなたの CO ₂ 排出量はどのくらい？ 脱炭素の暮らしとまちの未来」	主な経費
実施日	令和 5 年 10 月 28 日(土)13:30~16:00	印刷費製本費
会 場	中目黒 G T プラザホール	4 千円
参加者数	25 人	諸謝金
概 要	目黒区民に環境問題への関心を高めてもらうことを目的に毎年度開催している。令和 5 年度は脱炭素をメインテーマとして、講師に小出瑠氏（国立環境研究所主任研究員）を迎え実施した。小出氏は、脱炭素・循環型社会に向けた行動変容の研究に取り組み、自分の衣食住など生活に関する簡単な質問に答えるだけで、CO₂の排出量や脱炭素アクションを提示する画期的なアプリ「じぶんごとプラネット」の開発にも携わっている。講演会の模様は録画し、第 1 部を YouTube で配信した。 ○第 1 部「脱炭素型ライフスタイルへの転換」 今、地球では前例のない規模の気候変動が起こっており、影響を抑えるためには 2050 年までに CO₂の排出量を実質ゼロにする必要があることを導入として紹介した。小出氏の研究テーマの一つであるカーボンフットプリントは、製品の原料調達から廃棄までサービスにかかる全ての工程で発生する温室効果ガスを CO₂に換算して数値化したもの。日本のカーボンフットプリントのうち約 6 割は家計消費であり、参加者は、自身がどのくらい CO₂を排出しているか、簡易版「じぶんごとプラネット」で計算した。 ○第 2 部「みんなで取り組む脱炭素アクション」 第 1 部で各自の CO₂排出量を把握した後、第 2 部では 3~4 名のグループに分かれ、「わたしたちにできる脱炭素アクション」、	50 千円

	「地域で取り組む脱炭素アクション」などについて、ディスカッションを行った。参加者からは「気候変動対策をじぶんごとにするのが大事、もっと努力をしようと思った」「削減効果の大きい脱炭素アクションを知ることができた」「再生可能エネルギーへの切替えが必須」などの感想が寄せられ、関心を高めることにつながった。  	
--	--	--

(2) ホームページ等の広報活動

概 要	協会並びに目黒区エコプラザからの情報発信や広報活動にホームページを活用した。トップページのデザインを変更し、閲覧性及び視認性の向上を図った。毎月トップページのスライダー画像を差し替え、ホームページのイメージの新規性を高めた。新型コロナウイルスの影響により事業活動が制約を受ける中、ウェブサイトからの情報発信が有効である。目黒区エコプラザの事業案内やイベント情報、定期的に発行するプラザニュースや会員向け「かたつむり通信」等の継続的な発信、募集やお知らせ等タイムリーな情報提供だけに留まらず、イベントや講座の開催報告、講演会の記録動画や海洋プラスチック問題についての説明動画を掲載してコンテンツの充実を図った。ホームページの閲覧者へ情報提供とともに、協会への興味を持ってもらうための広報活動へつなげた。	主な経費
		使用料及び 賃借料 16 千円

(3) めぐるスマートライフ事業

事業名	めぐろスマートライフ（ホームページ）	主な経費
概 要	省エネルギーを我慢や節約というイメージで捉えるのではなく、エネルギーを効率的に使い、賢くシンプルな生活を実践していく新しいライフスタイルを「めぐろスマートライフ」と名付けて、専用ホームページから情報発信を行っている。令和5年度は51本の記事を配信し、同時にFacebookにも公開した。 「めぐろスマートライフ」では、区民等のecoライフライターが取材や投稿等で活躍している。ecoライフライターに向けては、スキルや知識向上のために「ecoライフライター研修及び交流会」を開催した。第1回目は、市民科学研究室代表の上田昌文氏を講師に迎え、「自分で調べる技術」をテーマにしたワークショップを開催した。第2回目は、東大駒場キャンパス内（目黒区駒場）で調査を行う「環境三四郎」から駒場池（一二郎池）周辺に生息する生物についてレクチャーを受け、都市にある自然の豊かさや身近な自然を良くするために何ができるのか等を考え、ディスカッションする場を設けた。 ウェブサイトのアクセス解析によると、年齢別訪問者数等については、20～40代の閲覧者が最も多かった。記事のアクセス数では、ごみや資源の分別、食品ロス等に関する記事の表示回数が多く、これは、当該世代が身近な「ごみ」をきっかけに環境意識が高まり、興味を引く記事として閲覧されたものと考えられる。 掲載と同時にSNS「Facebook」や料理レシピのコミュニティウェブサイト「クックパッド」での発信を行った。その他に、目黒区子育て支援課が運営する「めぐろ子育てホッとナビ」、環境省「プラスチックスマート」、東京都環境局「チームもったいない」にめぐろスマートライフがリンクフォローされ、情報を継続掲載していること等も閲覧者数の拡大に効果的だったと推察される。  めぐろスマートライフ Meguro Smart Life エコロジーや省エネルギーを賢く楽しみながら実践できる情報を発信中です！	委託費 149 千円 諸謝金 69 千円 費用弁償 8 千円 使用料及び賃借料 16 千円

(4) 食品ロス削減に向けた取り組み

事業名	フードドライブ	主な経費									
概 要	国内でまだ食べられるのに廃棄される食品ロスは、1 年間に約 523 万トンを超えと言われており、国内における食品ロス問題への関心も高まっている。このような背景もあり、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年 10 月 1 日に施行された。 協会では、イベント等で「フードドライブ」を実施するなど、平成 26 年から環境面から家庭系の食品ロスに着目して活動し、食品ロス削減についての情報提供や啓発活動を行ってきた。令和 3 年 4 月 12 日からは、「フードドライブ」の窓口を協会事務局へ常設し、食品ロス問題の啓発に取り組んでいる。常設にあたっては、受付できる寄付食品の詳細等をめぐろ区報、エコライフめぐろ推進協会ホームページや目黒区ホームページにおいて周知に努めた。また、窓口利用者には買い物や家庭内、外出シーンで実践できる食品ロス削減活動を紹介する冊子（「食品ロスゼロアクション」東京都：令和 5 年 9 月発行）を配布するとともに、窓口や総合庁舎西口などで食品ロス削減パネルを掲示し啓発を行った。寄付された食品は、目黒区内の母子生活支援施設や障害者の共同生活支援施設等に配布した。 また、中央地区の「あぶらめん住区まつり」や西部地区の「緑が丘文化祭 2024」へ参加し、フードドライブを実施し、食品ロス問題の啓発を行った。	消耗品費 5 千円 通信運搬費 11 千円									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">令和 5 年度フードドライブ寄付数等</th></tr> <tr> <th>寄付者</th><th>寄付品数</th><th>重量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>325 人</td><td>3,790 点</td><td>1,273.15 kg</td></tr> </tbody> </table>			令和 5 年度フードドライブ寄付数等			寄付者	寄付品数	重量	325 人	3,790 点	1,273.15 kg
令和 5 年度フードドライブ寄付数等											
寄付者	寄付品数	重量									
325 人	3,790 点	1,273.15 kg									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">令和 5 年度フードドライブ配布数等</th></tr> <tr> <th>配布回数</th><th>配布食品数</th><th>重量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60 回</td><td>3,823 点</td><td>1,250.07 kg</td></tr> </tbody> </table>			令和 5 年度フードドライブ配布数等			配布回数	配布食品数	重量	60 回	3,823 点	1,250.07 kg
令和 5 年度フードドライブ配布数等											
配布回数	配布食品数	重量									
60 回	3,823 点	1,250.07 kg									



(5) エコまつり・めぐろ 2023

事業名	エコまつり・めぐろ 2023	主な経費
実施日	12 月 11 日（日）10 時～15 時	委託費
会 場	田道ふれあい館・田道広場公園	952 千円
来場者数	約 2,500 人	印刷製本費
概 要	エコまつりは、目黒区内の環境活動団体や事業者、行政、環境に関心を持つ人々が一堂に集い、来場者と交流しながら楽しく環境問題に触れることができる事業である。 テーマは「めぐろから始めよう！環境にやさしい未来」。 当日は、午前中、雨天のため田道広場公園の屋外展示は見合わせていたが、午後には天候が回復し、自然エネルギーのソーラーカーや起震車、スケルトンパッカー車の体験が出来るようになり、子どもたちが列を成していた。 昨年に続き、SDGs（持続可能な開発目標）の 17 の目標に関するクイズラリーを行ない、クイズを通じて私たちの暮らしや環境問題とも深く関わる「SDGs」について啓発ができた。 今年は、区内にある大学 2 校が出展した。東京工業大学は、磁石とコイルで発電するこまのワークショップで自然エネルギーから電気をつくる仕組みを、東京大学は、生物に関するパネル展示を行い、生物多様性の現状や課題などを伝えた。 毎年恒例のフードドライブでは、食品ロス削減等アンケートを実施し、多くの方々にフードドライブや食品を無駄にしない等の啓発ができた。 また、今年も協会会員やめぐろエコサポーター、高校生や大学生がボランティアに参加し、来場者の整理誘導などを担っていただいた。 【結果概要】 1 テーマ 「めぐろから始めよう！環境にやさしい未来」 2 来場者数：約 2,500 人 3 出展団体等 (1) 出展団体 : 31 団体 (2) 協力団体等：暮らしを考える会グループ・ちゃんねる・油面住区住民会議	132 千円 会議費 11 千円 保険料 103 千円 消耗品費 78 千円

(3) 学生ボランティア：日本工業大学駒場高等学校など
(5 人)

(4) 環境推進員等ボランティア：(13 人)

4 フードドライブ

(1) 寄付人数：4 人

(2) 寄付物品：缶詰、レトルト食品、醤油・茶等
44 点 (約 4.9kg)

(3) 寄贈先：区内児童福祉施設

(4) 食品ロス削減等についての来場者アンケート 61 人

5 エコステーション

・ 回収ごみ：計約 1.62 kg (リサイクル率 約 63%)
ごみの分別について啓発を行った。



2 会則第4条2号事業：環境配慮活動の支援、ネットワークづくり及び総合調整に関すること

(1) 環境配慮活動団体への助成

事業名	環境保全活動団体への助成	主な経費
概 要	「地域における環境保全活動に対する助成に関する要綱」に基づき、地域における環境保全活動の広がりや定着を図ることを目的とし、リサイクルショップの収益金を活用した助成制度である。 環境保全活動団体の日々の活動もコロナ禍以前の状況には戻っておらず、令和5年度の助成応募はなかった。	—

(2) 環境配慮活動団体報告会及び交流会

事業名	活動報告会&交流会	主な経費
実施日	令和6年3月2日(土) 13時30分～15時30分	—
会場	エコプラザ活動室	
参加人数	17人	
概 要	環境保全活動団体が地域に根を広げ、活動を発展させていけるよう、各団体が1年間の活動報告をするとともに、団体間の情報交換を目的として行うものである。 令和5年度は活動団体助成への応募がなかったため、交流会は活動団体の日頃の活動報告と参加者による自由交流として開催した。前半の活動報告ではめぐろ環境マネジメントシステム研究会、布ぞうり・さき織りサークル、目黒サンクチュアリーズの3団体が行い、後半は参加者17名に職員が加わり、4グループに分かれて環境活動、興味のある活動、個人のできるエコな活動などからグループ内で自由にテーマを決めて自由交流を行った。 	

(3) エコライフめぐろ推進協会紹介動画作成

事業名	動画「私たちの暮らしから見た海洋プラスチック問題」	主な経費
概 要	エコライフめぐろ推進協会の認知度を高めることを目的に、協会の役割やこれまでの活動実績等を紹介する動画を YouTube を介して配信し、区内外にエコライフめぐろ推進協会の事業を広く周知する。令和 5 年度は「私たちの暮らしから見た海洋プラスチック問題」の動画をクイズ形式で作成し、動画内でプラスチックごみの現状と、私たちがすべきこととして「今日から実践！プラスチック減量」について紹介した。  	—

(4) 地域との連携・支援事業

事業名	① 環境配慮商品等の普及啓発（地域イベント等）	主な経費
概 要	地域、商店街等との連携を深めるために、それぞれが主催するイベントに参加し、環境保全活動についての啓発を行うとともに環境配慮商品等を販売している。令和 5 年度は、第 52 回目黒消費生活パネル展（10 月 23 日～11 月 5 日）に参加し「重曹とクエン酸が主人公！我が家のエコそうじ術」のポスターを掲示。11 月 18 日・19 日の第 60 回目黒区商工まつりでは重曹とクエン酸で作るバスボム作りのワークショップを開催し、重曹・クエン酸・みつろうラップキットの販売を行った。バスボムのワークショップは 1 月 20 日の田道ふれあい館まつりでも開催した。 	商品仕入れ費 204 千円 （目黒リサイクルショップ等の販売分含む。）
事業名	② 環境配慮商品等の普及啓発（目黒リサイクルショップ等）	主な経費
	再生用品、環境配慮商品等の普及啓発として、目黒リサイクルショップを活用して展示、販売した。また、住区センターで使用する業務用のトイレットペーパーを販売した。実績は表のとおり。 （売上数、売上額は令和 6 年 3 月末現在）	「①」の主な経費欄に記載のとおり。

商品種類	販売 価格 (円)	売上 数 (個)	売上額 (円)
トイレットペーパー (牛乳パック類の再生パルプが主な原料。)	440	13	5,720
トイレットペーパー (牛乳パック類の再生パルプが主な原料。)	451	116	52,316
業務用トイレットペーパー (牛乳パック類の再生パルプが主な原料。)	418	420	175,560
ティッシュペーパー (牛乳パック類の再生パルプが主な原料。 簡易包装。)	396	59	23,364
こまばみどり (駒場地域で活動している団体が作った生 ごみ堆肥)	110	221	24,310
よみがえり・よみがえる(軍手) (古着が主な原料。綿の紡績軍手に比べCO2 発生量が1/6。)	110	29	3,190
よみがえり・よみがえる(軍手) (古着が主な原料。綿の紡績軍手に比べCO2 発生量が1/6。) ※ロータリークラブ販売分	40.2	200	8,040
重曹 300 g (環境に配慮した掃除用。)	110	233	25,630
クエン酸 100 g (環境に配慮した掃除用。)	55	268	14,740
紙ひも	121	0	0
めぐろはんどめいどエコバッグ	550	1	550
みつろうラップ	330	11	3,630
区民まつり等における販売収入			11,300
合 計			348,350

事業名	③地域におけるエコ活動の支援	主な経費
概 要	1 エコステーション用資材の貸し出し 区内の各地域が開催する催し等で環境意識の向上を目的にエコステーションを開設する場合に、必要な資材等を貸し出している。 【貸出団体：7 団体】 ・ 中目黒村美化委員会等 ・ 八雲住区住民会議 ・ 目黒区民まつり実行委員会 ・ スポルテ目黒 ・ めぐる環境マネジメントシステム研究会 ・ 目黒区国際交流協会（MIFA） ・ 目黒区桜まつり実行委員会 2 リユース食器の貸し出し 区内の各地域が開催する催し等で飲食を提供する場合、環境意識の向上を目的にリユース食器の利用を希望する団体、施設等に貸し出している。 【貸出団体：2 団体】 ・ 目黒区消費生活展実行委員会 ・ 油面住区住民会議 ※令和 5 年 10 月に目黒区生活衛生課から、臨時出店におけるリユース食器使用に際し、洗浄・消毒・乾燥等を行う専門業者が管理した食器を使用し、出展場所での使用は 1 回限りとする見解が示された。これを受け、協会でのリユース食器の貸し出しは 12 月をもって廃止した。	

事業名	④ 協会事業の委託に係る受託団体募集（SDGs 環境事業）	主な経費
概 要	令和 5 年度は、区民に対し SDGs（目標 12 番・14 番など）に関する区民の環境意識の高揚を図ることを目的として、その環境啓発事業の企画・運営を受託する区民の環境団体等を募ったが、応募はなかった。	—

3 会則第4条3号事業：環境配慮活動の調査・研究に関すること

(1)環境学習推進の調査・研究

事業名	SDGs に関する情報収集及び調査研究	主な経費
趣 旨	SDGs（持続可能な開発目標）について、国等の行政機関、関係団体の動きを注視するとともに、環境関連分野における区民に身近な内容について情報収集及び調査に取り組む。	—
概 要	協会では国等の行政機関、関係団体の動向を注視しながら SDGs に関連する情報収集、調査研究を行った。 SDGs は 2015 年に国連持続可能な開発サミットにおいて、17 のゴールと 169 のターゲットが定められ、令和 5 年（2023 年）は目標達成年（2030 年）に向けた折り返し年となった。新聞等の調査報道によると、SDGs という言葉は浸透しているが、達成に向けて自らアクションを起こす個人は少ないと示されている。行動に結びつかない理由は、SDGs の多岐に渡るゴールやターゲットの内容を理解し、把握することが難しいことが挙げられる。企業や行政、教育機関では SDGs をうたった取組を行っているが、個人レベルの行動に結びつけるには、SDGs を分かりやすく伝え、個人が具体的なアクションを起こしやすい環境が必要であると考えられる。 令和 5 年度の協会の取組は、区民に SDGs 分かりやすく伝えるため、「わくわくエコライフカレンダー」で、協会が実施した事業が SDGs の目標に関連することを表示し見える化を図り、区民等に「めぐろから SDGs 学ぼう！取り組もう ♪」という啓発を行った。また、エコまつり・めぐろ 2023 内では各出展者のブースに関連する SDGs アイコンを掲示し、まつりに参加した区民が各ブースを訪れて SDGs について学ぶ「SDGs スタンプラリー」を実施し、SDGs を意識するきっかけになるように働きかけた。	

4 会則第4条第4号事業：資源回収及び再利用の促進に関すること

事業名	環境配慮商品等の普及啓発	主な経費
概 要	19 頁（4）地域との連携・支援事業 ① 環境配慮商品等の普及啓発（地域イベント等）に掲載 ② 環境配慮商品等の普及啓発（目黒リサイクルショップ等）に掲載	

5 会則第4条7号事業：その他目的を達成するための必要な事業

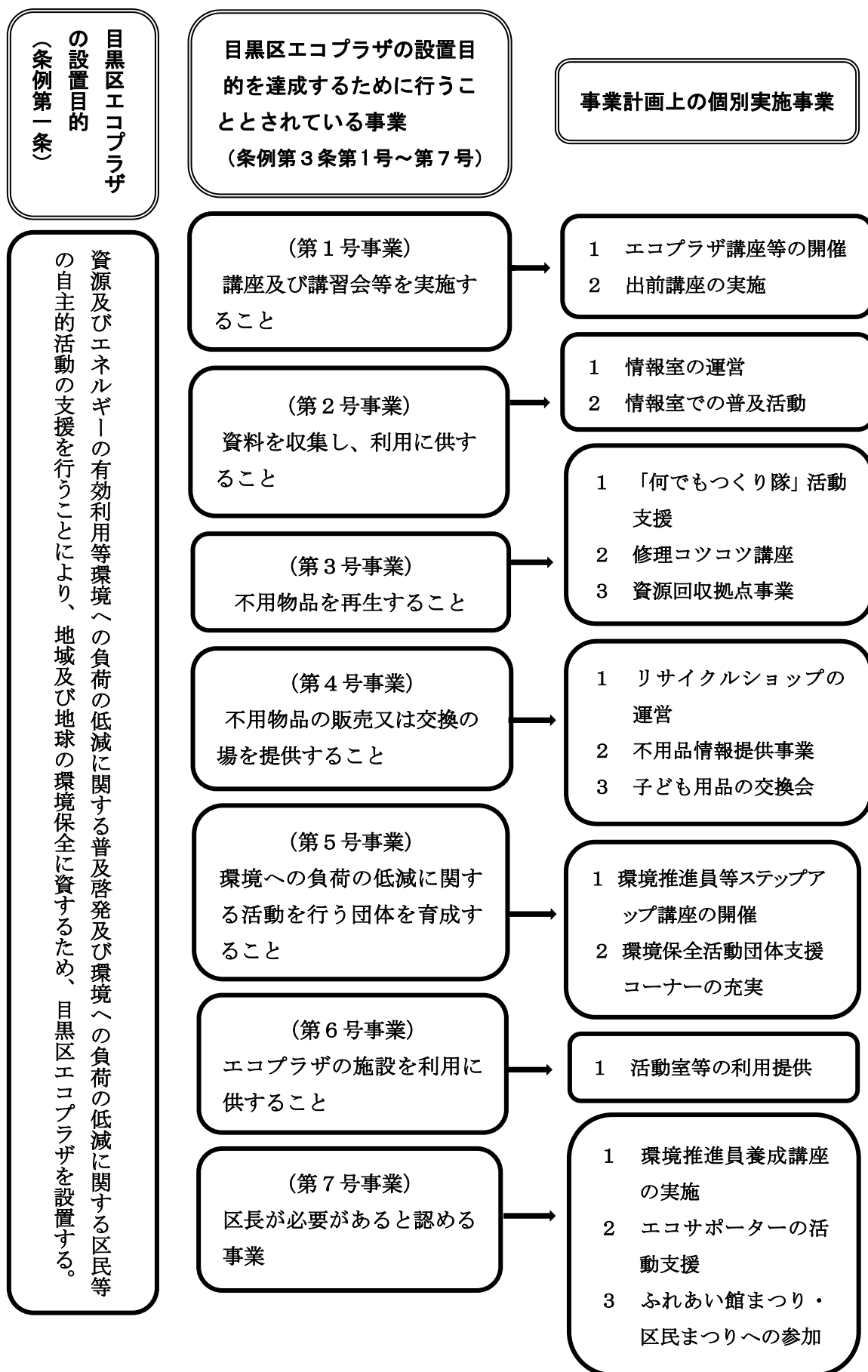
(1) 会員向け広報紙「かたつむり通信」の発行

事業名	広報紙「かたつむり通信」の発行	主な経費
対 象	協会の賛助・協力会員・理事・運営協議会委員	消耗品費
回 数	年4回 発行月：6月末（7月号）・9月末（10月号）・ 12月末（1月号）・3月末（4月号）	6千円 諸謝金 24千円
内 容	協会実施の事業予告(指定管理事業含む) 及び報告、協会事業へのボランティアの募集、会員寄稿によるコラム等を掲載。 令和5年度の読み物コーナーでは、日本の自然環境や気候変動について気象予報士によるコラム『「水の国日本」に住む私たちの暮らし』を連載し、内容の充実を図った。 また、令和5年度は会員向けに「ボランティア講習会とかんたん金継ぎワークショップ」を開催した。ボランティア講習ではエコプラザが小学校や児童館の出張講座で行っている「資源とごみの分け分けゲーム」を行った。かんたん金継ぎでは参加者が持参した器を金継ぎするとともに、ものを直して大切に使うことの意義を実感できるワークショップとなった。	



目黒区エコプラザ 指定管理事業報告

令和5年度目黒区エコプラザ指定管理事業計画体系図



令和5年度（2023年度）目黒区エコプラザ指定管理者事業報告

1 条例第3条第1号事業：講座講習会等を実施すること

(1) エコプラザ講座等の開催

ア 「自然エネルギーを体感しよう」

実施日	11月12日(日) 10:00～15:00	主な経費及び参加費 委託費 100千円 参加費 —
会場	「エコまつり・めぐろ2023」田道広場公園	
参加者数	約350人	
講師等	NPO法人 ソフトエネルギープロジェクト	
概要	「エコまつり・めぐろ2023」の中で、自然エネルギー(再生可能エネルギー)の啓発としてソーラーカーの試乗や手回し発電で動くNゲージの体験を実施した。午前中は雨の影響で室内へ移動してNゲージとソーラーグッズの体験のみの実施となったが、午後からは天気も回復しソーラーカーの試乗もでき多くの方に自然エネルギーの力を体感して貰うことができた。	

イ 親子ふれあい自然体験 in ふなばし三番瀬海浜公園

実施日	3月27日(水) 8:30～16:30	主な経費及び参加費
会場	ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館	
参加者数	28名(大人12人 子ども16人)	使用料及び貸借料 128千円 参加費収入 28千円
講師等	ふなばし三番瀬環境学習館職員	
概要	東京湾の最北に位置するふなばし三番瀬海浜公園でビーチコーミングや生き物観察をすることで、海で起きている環境問題について考え・学ぶきっかけとした。午後からは三番瀬環境学習館を見学し、三番瀬の歴史や生息する生き物について学んだ。	



イ 親子ふれあい自然体験 in ふなばし三番瀬海浜公園

ウ DIY 子ども工作教室

実施日	7月15日(土) 13:30~15:30	主な経費及び 参加費 消耗品費 8千円 諸謝金 無料 参加費収入 4千円
会場	田道住区第2・第3会議室	
参加者数	19人	
講師等	一般社団法人日本DIY・ホームセンター協会	
概 要	小学生に道具の大切さや手作りすることの良さに慣れ親しんでもらうことを目的として開催した。講師による的確な工具の扱い方の指導により、楽しみながら安全に工作に取り組むことができ、もの作りへの興味や理解を深めてもらうことができた。	

(2) 出前講座（学校・児童館等）の実施

ア 小学校への出前講座

概 要	ごみ・リサイクルについて授業で学ぶタイミングとなる小学校4年生を対象に出前講座を行っている。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の流行により、依頼が減少している。小学校4年生対象の出前講座は二校のみとなったが、協会が独自に作成している冊子「めぐろeco エコ大作戦」を配布の希望を募り、碑小学校など9校からの希望に応えた。また、エコプラザの見学・取材等を目的とした保育園・高校生・大学生の受入れを行った。	主な経費 印刷製本費 252千円
-----	---	------------------------

(ア) 小学校4年生対象出前講座

実施月日	小学校名	参加人数
7月7日(金)	田道小学校	52人
9月21日(木)	下目黒小学校	90人

(イ) 目黒区エコプラザの見学等

実施月日	小学校名	内容	参加人数
11月16日(木)	高知商業高等学校	見学	3人
11月28日(火)	日本女子大学校	取材	1人
12月6日(水)	祐天寺ナーサリー保育園	見学	9人

(ウ) 「めぐろecoエコ大作戦」配布

小学校名	配布数	小学校名	配布数
碑小学校4年生	100	上目黒小学校4年生	54
油面小学校4年生	93	東根小学校4年生	122
向原小学校4年生	50	東山小学校4年生	160
田道小学校4年生	55	下目黒小学校4年生	90
駒場小学校4年生	61	東根学童保育クラブ	30

イ 児童館への出前講座

概 要	子育てをする中で楽しくエコライフが送れるよう、児童館等に出向き、きっかけづくりのための講座を実施した。また、エコプラザへの来館者の増加につながるよう、エコプラザPRも出前講座の中で行った。その際のアンケートでは、「目黒区エコプラザを知らなかった」という方が多数おり、エコプラザPRの有効な機会にもなった。	主な経費
		—

参加者計**61**人

	実施日	施設名等	事業名等	対象	内容	参加人数
1	6月20日 (火)	東山児童館	乳幼児のつどい	1歳～5歳児と保護者	エコ工作「お散歩ワンちゃん」	2組6人
2	7月22日 (土)	油面住区センター児童館	乳幼児のつどい	2歳～3歳児と保護者・小学生	エコ工作「ラケット」	1組2人小学生5人
3	9月8日 (金)	五本木住区センター児童館	乳幼児のつどい	0歳～5歳児と保護者	バスボム作り	1組1人小学生1人
4	10月10日 (火)	平町児童館	乳幼児のつどい	1歳～2歳児と保護者	エコ工作「カタカタカスタネット」	5組12人
5	12月1日 (金)	平町児童館	乳幼児クラブ	2歳～3歳児と保護者	資源とごみの分け分けゲーム	3組6人
6	1月31日 (水)	向原住区センター児童館	乳幼児クラブ	0歳～3歳児と保護者	エコ工作「ケロケロかえる」	3組7人
7	2月6日 (火)	八雲住区センター児童館	乳幼児のつどい	0歳～3歳児と保護者	バスボム作り	5組11人
8	3月14日 (木)	区民センター児童館	乳幼児のつどい	2歳以上の幼児と保護者	エコ工作「箱カメラ」	2組4人小学生6人



田道小学校4年生「めぐろecoエコ大作戦」の様子



児童館への出前講座「エコ工作」

ウ 学童保育クラブへの出前講座

概 要	夏休み等学校の長期休業期間中の「学童保育クラブ」に向けて出前講座の案内を61か所に送付。希望に応じて2か所で出前講座を実施した。	主な経費
		—

	実施日	学童保育名	内容	参加者数
1	8月22日(火)	烏森第二学童保育クラブ	バスボム作り	17人
2	11月24日(金)	東根学童保育クラブ	資源とごみの分け分けゲーム	24人

エ その他の出前講座

	子育て交流ひろば0123
実施日	10月19日(木) 10:00～14:00
会場	中小企業センター第一集会室
参加者数	260人
内容	「エコおもちゃであそぼう」
概 要	0歳から3歳児の親子を対象に、子育てグループが情報提供の場として開催しているイベント。目黒区エコプラザは、紙パックや段ボールを使ったおもちゃで遊べるコーナーを担当。利用している親子に向けて、目黒区エコプラザの紹介とxChange～子ども服の交換会からのPRを行った。

	東部ふれあいフェスティバル
実施日	11月19日(日) 13:00～15:00
会場	こぶしえん
参加者数	135人
内容	「目黒区エコプラザの紹介」「毛糸 de ボランティアが作成したクッションの紹介」
概 要	東部地区にある施設や町会・団体等が区民に向け活動や取り組みを紹介し、エコプラザを知って活用して貰うことを目的で実施。エコプラザの紹介及び毛糸deボランティアのひざ掛け・クッション等を紹介した。



子育て交流ひろば0123の様子



東部ふれあいフェスティバル

2 条例第3条第2号事業：資料を収集し、利用に供すること

(1) 情報室の運営

概要	情報室を利用される方の年齢層や季節に応じて、エコライフに関する情報のパネル展示、ミニ講座、ちらしの配布などを行い、利用の促進を図った。	主な経費
		印刷製本費 257 千円 消耗品費 155 千円

ア 情報室におけるエコライフに関する情報の提供

ごみの分別方法、重曹・クエン酸を使った環境にやさしい掃除方法、エコプラザのPRちらし等を配布すると共に、緑のカーテン普及のために、次のとおり種の配布等を行った。

事業名	実施期間等	内 容
緑のカーテンを育てよう！	4 月 13 日(木)～ 5 月 12 日(金)	へちまと、ふうせんかずらの種を配布。併せて、つる性植物を緑のカーテンとして育てる方法や、収穫できたへちまの実をスポンジに加工する方法について冊子を配布し、情報提供を行った。
牛乳パックで生ごみ堆肥づくり	通年	牛乳パックを使って手軽に生ごみ堆肥を作る方法を紹介したちらしを配布した。秋から春にかけての園芸や野菜作りに取り組んでもらうことで、ごみを減らし、環境にやさしい栽培方法を心がけてもらえるようになることがねらい。

イ 展示コーナーの設置

パネルや実物を活用した展示コーナーを設け、環境や 3R に関する情報提供、エコプラザで行っている事業の展示を行った。(詳細は 30 頁情報室の普及啓発にあり)

ウ 図書の提供

環境に関する図書・雑誌を充実させると共に、展示テーマと連動させ、配架を工夫した。

実施月	テーマ	内 容
4 月 5 月	夏に向けて緑のカーテンを育てよう！	へちまや、ふうせんかずらの種の配布と併せて、つる性植物を緑のカーテンとして育てる方法を学ぶことが出来る図書を紹介。
6 月 7 月	おうちのごみも分ければ資源になるよ！	6月の環境月間に、情報室内で「資源とごみの分け分けゲーム」を設置したのとあわせて、ごみと資源の関連図書を紹介。
8 月 9 月	夏！生きものを見つけよう！観察しよう！	夏休みに身近な場所でも、生きものを観察することを通して、自然に触れる機会をもってもらえるような図書を紹介。
10 月 11 月	秋から冬に楽しむおしゃれなリメイク♪	肌寒くなってくる季節の前に、暖かい衣類や衣類雑貨を自分でリメイクすることを提案する図書を紹介。
12 月 1 月	家族で楽しく作ってみよう修繕しよう♪	年末年始に、家具や室内の修繕などに家族で取り組んでもらえるように DIY に関する図書を紹介。
2 月 3 月	考えてみて！なくてはならない水のこと	桜の開花で目黒川が注目される時期を迎えるに、水の大切さや水に関わる環境問題について考えてもらえるような図書を紹介。

エ その他

事業名	内容
エコプラザだより	月 1 回発行の目黒区エコプラザの情報紙である。地区サービス事務所・住区センター・図書館・社会教育館等で掲示・配布を依頼。(毎月ポスター約 280 枚・チラシ約 800 部発行)
わくわくエコライフカレンダー	リサイクルショップの収益金を活用し、エコライフめぐろ推進協会の事業紹介などを兼ねたカレンダーを作成。来館者等に配布。(発行部数:1500 部)

(2) 情報室での普及啓発

概要	エコプラザを訪れた区民が気軽に学習し、成果を持ち帰れるよう、来場者層に合わせたミニ学習会(サロン・エコライフ)や展示を行った。	主な経費
		諸謝金 5 千円

ア 展示 (図書コーナー及び階段下展示コーナー)

実施月	テーマ	内 容
4 月 5 月	里山のくらしといきもの	・かつて循環型生活が営まれていた里山という環境と、その環境で繋がりあいバランスを保っていた生きものについて紹介し、近年の環境の変化により生きものが絶滅あるいは絶滅の危機にあることについても紹介した。
6 月	資源とごみの分け方出し方	・分別の仕方がわかりにくいものをクイズ形式で展示。 ・7月より製品プラスチックの回収が始まるため、分別の変更内容がわかりやすいよう実物等も使って紹介した。
7 月 8 月	・自由研究のヒントを見つけよう！ ・夏休み自由研究応援企画	・夏休み期間に合わせ、自由研究のヒントになる図書を紹介した。 ・「紙パックのリサイクル」「打ち水」「エコ工作レシピ配布」など、夏休みの自由研究のヒントの一例を紹介した。
9 月 10 月 11 月	食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられていることです。	・食品ロスの現状を伝え、家庭内でもどのような考え方や工夫で食品ロス対策ができるか、具体的にレシピカードを配布する等、食に関する情報を提供した。
12 月	微生物の力で春に向けて土づくり！	・めぐろスマートライフの“牛乳パックで堆肥作りに挑戦！”を微生物の力として紹介し、土の見える牛乳パックを展示。またエコ布植木鉢の作り方を春への準備として展示紹介した。
1 月 2 月	いきものたちの「食う→食われる」関係	・海や森、街に生きる野生動物が、どのような「食う→食われる」の関係(食物連鎖)があるのかパネル展示を行った。
3 月	・きれいな海は街から ・どうして目黒川は汚いの？	・今海で何が起きているか？ ふなばし三番瀬海浜公園の砂に混ざるマイクロプラスチックの実物を展示するなど、海洋汚染の現状を知り、防ぐためには何が出来るかを考えてもらった。 ・目黒川はなぜ悪臭が発生するのか？その理由と悪臭を防ぐための対策を提案した。

イ サロン・エコライフ

講座名	実施日	内容	参加人数
資源とごみの分け分けゲーム	6月5日(月)～ 6月13日(火)	ごみのサンプルを「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源」に分けて正解、不正解を音で知らせるゲーム。6月の環境月間に合わせ、7月から目黒区の製品プラスチックの資源回収が始まるのでその周知も行い、分別、ごみの減量、資源リサイクルの普及啓発を楽しく行った。	30人
「紙パック de 紙すき体験」	8月2日(水)	夏休みの自由研究の応援企画として、紙パックを使った紙すきでハガキを作る体験講座を行った。また、東京大学環境三四郎に紙パックのリサイクルの説明を実施した。	68人
綿くりワークショップ	8月8日(火)	種取りをした綿がつむがれて糸になり、織られて布となり、さらに衣類として仕立てられるまでの理解を深めてもらうことを目的に開催した。	22人
「身近なものでリース作りを楽しもう」	12月2日(土)	トイレトペーパーの芯・包装紙・毛糸等、身近にある不用品を用い飾って楽しいリース作りを行った。	17人

ウ その他（図書コーナーの活用・窓口での普及啓発）

事業名	実施期間	内容
エコおもちゃ設置	通年	紙パック等で作成したエコおもちゃや段ボールで遊べるコーナーを設置した。
夏休み向け図書紹介	7月28日(金)～ 8月31日(木)	夏休みの自由研究向けの図書をテーマごとに展示し、調べ学習のサポートを行った。
打ち水大作戦 in 田道ふれあい館	① 8月8日(火) ② 8月26日(土)	夏のヒートアイランド対策の啓発として「何でもつくり隊小物作り」や「高齢者センター納涼祭」に合わせて打ち水を実施し、多くの方に参加いただけた。(参加者 ①40人 ②43人)
服育クロスワード	10月21日(土)～ 1月11日(木)	服の一生を見てみよう(購入編・リサイクル編)のクロスワードを A1 サイズに拡大し答えを貼ってはがして遊べるように設置した。
海を汚している行動はどれですか？	3月8日(金)～ 継続中	イラストの中から海を汚している行動を探しだし、×マークをつけて遊ぶゲーム。親子で環境について考えて貰いたいので、エコおもちゃを置いているコーナーに設置した。
新着図書紹介	3月28日(木)～ 継続中	新しく入った図書を紹介した。

3 条例第3条3号事業：不用物品を再生すること

(1) 何でもつくり隊

事業名	何でもつくり隊	主な経費
概要	古着・古布・残り毛糸等を使った物づくりの講座を定期的にエコプラザ活動室で開催した。 各講座の運営に協力している活動団体や講座の参加者が、それぞれの地域などで活動を広められるよう、協会が支援する人材育成の場としての事業である。	—

ア 定例開催

参加者計 790 人

講座名	実施日	内容	参加人数
毛糸 de ボランティア	毎月第 1 火曜日 13:30～15:30	残り毛糸を活用してひざ掛け等を作り、福祉施設等に寄付している。 寄贈先:こぶしえん(クッション 10 枚・ひざ掛け 10 枚) 田道小規模多機能(クッション 15 枚・ひざ掛け 15 枚) 中央の家(クッション 20 枚・ひざ掛け 20 枚) 東京都写真美術館(クッション 3 枚)	108 人
古布 de 小物作り	毎月第 2 火曜日 13:30～15:30	古布を活用して小物を作る。 協力団体:布で遊ぼう	189 人
古布でさき織り	毎月第 3 火曜日 13:00～15:30	古布を裂いて、織り機を使って作品を作る。 協力団体:布ぞうり・さき織りサークル	86 人
エコ布ぞうり	毎月第 4 火曜日 13:30～15:30	古布を活かして布ぞうりを編む。 協力団体:布ぞうり・さき織りサークル	100 人
つくりなおしカフェ	毎月第 1・4 木曜日 13:30～15:30	着物や Y シャツ等の素材を活かしながら普段に着られるものへリメイクするとともに、丁寧な暮らし方を考える。 協力団体:もめんむすび	307 人

イ 懇談会

講座名	実施日	内容	参加人数
「何でもつくり隊」懇談会	4 月 6 日(木) 10 時～正午	各団体の代表者が集まり、活動状況の報告と意見交換を行った。 ※団体の代表者から、各活動で余って活用しきれない材料があることが報告され、材料を無駄にしない試みとして「材料交換会」が提案された。	全 4 グループの各代表者

ウ 材料交換会

講座名	実施日	内容	参加団体数
「何でもつくり隊」材料交換会	8 月 31 日(木) 14 時～15 時	「何でもつくり隊」の各活動で余って活用しきれない材料を持ち寄ってもらい、グループ間で交換を行った。 ※後日、交換した材料を使って制作された作品は、各活動でお披露目された。	全 4 グループの各代表者



ひざ掛け寄贈の様子(目黒中央の家)



材料交換会の様子

(2) 修理コツコツ講座

ア 包丁研ぎ編

実施日	第1回 6月17日(土) 第2回 11月18日(土) 第3回 2月10日(土) 第1回から第3回共通 ①9:30～10:20 ②10:40～11:30 ③13:10～14:00 ④14:20～15:10	主な経費及び参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	諸謝金(各回) 20 千円
参加者数	第1回:43 人、第2回:41 人、第3回:44 人 計 128 人	通信運搬費(各回)4 千円
講師等	クラフトマングループ 4 人	参加費収入
概要	切れなくなった包丁の研ぎ方を習って自分で研いでみることで、物を大切にすること、長持ちさせることの大切さを実感できる機会を提供した。	第1回 12.9 千円 第2回 20.1 千円 第3回 22.2 千円

イ 網戸の張替え編

実施日	6月19日(月) 第1回 10:00～12:00 第2回 13:30～15:30	主な経費及び参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	
参加人数	第1回:15 人 第2回:14 人 計 29 人	通信運搬費 6 千円
講師等	株式会社イノボックス 2 名	材料費 14.5 千円
概要	家庭で修理することがあまりない網戸の修理技術を普及し、ものを修理して長く使うことを通じ、ごみ発生抑制の促進を図った。	参加費収入 14.5 千円

ウ フローリングの補修編

実施日	2月21日(水) 10:00～12:00	主な経費及び参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	
参加人数	15 人	諸謝金 20 千円
講師等	DIY アドバイザー 吉村美紀 氏	通信運搬費 1.5 千円
概要	フローリングのへこみなどの補修方法を学ぶ講座。小さな模型を使って様々な補修材や道具の使い方コツを教わり、家に帰ってから直ぐに実践できるよう一部の補修材は持ち帰ることができた。	参加費収入 15 千円



修理コツコツ講座～包丁研ぎ編～の様子



修理コツコツ講座～フローリングの補修編～の様子

(3) 資源回収事業

概 要	資源回収の普及啓発として、目黒区エコプラザに、廃食油、インクカートリッジ等の回収コーナーを設置し回収した。行政回収の対象にならない資源について、次のとおり、協会が独自に回収した。	主な経費
		負担金 11 千円

回収物	衣類	ペットボトル キャップ	廃食油	インクカートリッジ	使い捨てコンタクト レンズの空ケース
回収量	8,820kg	567kg	710ℓ	48.33kg	50.64kg
売却益	38,808 円	6,237 円			
再利用内容	再生事業者が古着として販売する。	再生事業者が資源化し、ごみ箱やスーパーのカゴ、ボールペン等になる。	再生事業者がバイオ燃料としてリサイクルする。	破砕・選別後に再生プラスチック化し、プラスチック製品等へ再利用される。	粉砕し、再生ポリプロピレン素材として、様々なリサイクル製品になる。

4 条例第 3 条第 4 号事業：不用物品の販売又は交換の場を提供すること

(1) 不用品情報提供事業

概要	家庭で不用になった品物を活かす方法として、「譲りたい方」と「欲しい方」を仲介する仕組みをシステム化し、エコプラザで情報を提供している。大型家具等の引取り、販売については、不用品情報の利用を案内した。 ※利用実績は、39 頁のとおり。	主な経費
		—

(2) リサイクルショップの運営

概要	区民等から寄付品を頂き販売した収益金でエコまつりや環境講演会など、区民へ還元する環境保全活動に活用をしている。ショップの運営は、主にボランティアにより行っている。 ※利用実績は 39 頁のとおり。	主な経費
		費用弁償 3,707 千円

ア リサイクルショップボランティア研修

概要	令和 5 年度は、新しく出来上がった目黒清掃工場の内覧会をボランティア研修とした。最新の工場内を見学することで、今まで知らなかった工場の仕組みや新しく出来た工場の仕組みを理解することができた。これによりいかにリデュースが大切なのかを学ぶことができ、リサイクルショップがある意味を考えることもできた。
----	---

イ リサイクルショップの着物セール

実施日	10 月 8 日(日)10:00～15:30	主な経費 当日の売り上げ ショップ兼着物セ ール 332 千円 おもちゃクジ 6 千円
来場人数	着物セール 約 200 人 おもちゃクジ 183 人	
概要	区民まつりに参加するにあたりショップボランティア及び当日ボランティアの協力により着物セールを開催した。当日は臨時開館でリサイクルショップもオープンし着物セールも含め多くのお客さまに足を運んでもらうことができた。またおもちゃクジもとても盛況であった。	

(3) 子ども用品の交換会

実施日時	春:4月17日(月)~4月22日(土) 10:00~15:00 秋:10月23日(月)~10月28日(土) 9:00~17:00	主な経費
実施場所	目黒区エコプラザ情報室	—
参加人数	春:50人 秋:121人	
概要	不用となった子ども服にエピソードタグをつけ交換を行う『xChange(エクスチェンジ)』を開催した。子ども服を選び、エピソードタグにメッセージをつけて持ち込むという作業を通して、その物に対する思い出や物の価値を見出し、物を大切する心を育てて貰うことが狙いである。持ち込まれた子ども服は小さいサイズが多かったため、これから出産を控える方には母子手帳の提示で持ち帰れるようにした。	



リサイクルショップ 着物セールの様子



xChange~子ども服の交換会~の様子

5 条例第3条第5号事業：環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を育成すること

(1) 環境推進員等ステップアップ講座&エコサポーター懇談会の開催

実施日	10月7日(土) 10:00~12:30	主な経費
実施場所	目黒清掃工場・目黒区エコプラザ活動室	—
概要	環境推進員養成講座を修了し、めぐろエコサポーター制度に登録している方に対し、環境保全活動の実践に役立つ知識をさらに深めることの出来る機会とすることを目的に開催している。今年度は、新しくなった目黒清掃工場の見学を実施した。(参加者6名)	

6 条例第3条第6号事業：エコプラザの施設を利用に供すること

(1) 活動室等の利用提供

事業名	活動室等の利用提供	主な経費
概要	エコプラザ登録団体が活動の場として利用するとともに、指定管理事業などの講座、講習会の会場とした。 また、広く一般の団体等に対しても活動の場として利用に供した。 ※利用実績は、39頁のとおり。	消耗品費 5千円

7 条例第3条第7号事業：区長が必要があると認める事業

(1) 環境推進員（エコサポーター）養成講座の開催

私たち一人ひとりの行動が、地球規模で起こっている環境問題に深く影響している。

自分にできる環境活動を始めるきっかけづくりのための講座を、過年度受講者による企画委員会で検討されたカリキュラムにより連続講座で実施した。

概要	地域で環境への負荷の軽減に関する活動を行う人材を育成することを目的として、養成講座等を実施した。 今期(14期)養成講座修了者7人には、当協会理事長名で修了証を授与された。修了者がめぐるエコサポーター登録し、翌年に環境保全活動を実践し、「環境推進員登録申請書」を提出すると、当協会から「環境推進員登録証」を交付する。 令和5年度末累計登録者 環境推進員 28 人、エコサポーター124 人	主な経費
		諸謝金 145 千円 費用弁償 108 千円 消耗品費 5 千円

ア 養成講座企画運営委員会

(人数は委員のみ)

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	4月22日(土)	講座の概要・目的・実施方法の確認、年間計画の確認、委員会の進め方について	4人
第2回	5月20日(土)	講座内容の検討、第14期のテーマ決定	4人
第3回	6月10日(土)	講座全6回の内容決定	4人
第4回	7月1日(土)	講座全6回の内容・日程・各回のテーマ決定 講座各回の役割分担の検討	4人
第5回	7月22日(土)	講座全6回の内容確認、講座各回の役割分担の決定 講座(第1回)の打合せ	4人

イ 環境推進員（エコサポーター）養成講座

(人数は受講者のみ)

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	9月9日(土)	オリエンテーション 目黒川舟入場での野鳥観察、目黒川ウォーキング 講座の目的・取り組み方・修了後等のガイダンス、講義： 「身近な目黒川の豊かさとそれを脅かすもの」(講師：新 津紅氏)、お互いを紹介し合う他己紹介など	9人
第2回	9月30日(土)	映画「マイクロプラスチックストーリー」からごみ問題を 考える 解説：環境カウンセラー 杉村悦子氏	10人
第3回	10月21日(土)	講義：「家庭で取り組む食品ロス対策」 講師：NPO法人コミュニティスクールまちデザイン理事長 近藤恵津子氏	7人
第4回	11月4日(土)	講義：「衣類から3Rを考える」 講師：環境カウンセラー 杉村悦子氏	7人
第5回	11月25日(土)	グループ討議：「さあ！仲間と始めよう！」	7人
第6回	12月9日(土)	グループ発表と意見交換、修了証授与、修了後の活動 等の案内、修了生が立ち上げた活動団体の紹介など	6人

(2) エコサポーターの活動支援

環境推進員養成講座を受講しめぐるエコサポーター制度に登録した者に対し、講座・講習会の開催やボランティア募集等の情報提供、団体活動を行う際の相談、広報のための印刷機使用等の支援を行う。

ア めぐるエコサポーターへの情報提供

毎月1回と臨時号2回の年14回、講座やイベント等のお知らせメール(メールのない方には郵送)を行った。

イ めぐるエコサポーター専用ページの活用

エコライフめぐる推進協会ホームページ内のめぐるエコサポーター専用ページ(パスワード有)の編集及び管理を行った。

コーナー名	内容
めぐるエコサポーター通信 バックナンバー	めぐるエコサポーター通信創刊号から最新号までのバックナンバーを見ることが出来る。
今月のお知らせ	毎月メールや郵便で送っているお知らせの添付資料をホームページ上でも見ることが出来るようにした。
エコサポみんなの掲示板	エコサポーター同士が情報交換を出来る場として、ホームページ上に掲示板を作成、職員からもメッセージを定期的に入力し情報提供を行った。

ウ アンケートの実施

めぐるエコサポーターに往復はがきでアンケートを実施、連絡先の変更や情報提供の形態の変更希望調査を行った。

エ めぐるエコサポーター通信編集部会 (人数は編集部員のみ)

(ア) めぐるエコサポーター編集会議の開催

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	5月25日(木)	年間計画、役割分担、第13号の企画	4人
第2回	9月15日(金)	第13号の発行について 第14号の企画	3人
第3回	12月15日(金)	第14号の発行について 今後のスケジュールについて	3人
第4回	3月15日(金)	令和6年度に向けて	3人

(イ) めぐるエコサポーター通信の発行

発行号	発行日	内容
第13号	9月29日(金)	特集 ごみを減らそう「製品プラスチック資源回収が始まりました」 コラム 緑道を歩く
第14号	12月26日(火)	特集 エコまつり・めぐる2023 めぐるエコサポーター ステップアップ講座&交流会

(3) 「区民まつり」への参加

実施日	10月8日(日)	主な経費
会場	目黒区エコプラザ情報室・リサイクルショップ	費用弁償
概要	当日は、目黒区エコプラザとリサイクルショップの周知を目的として臨時開館し、目黒区エコプラザの図書コーナーとリサイクルショップを会場に、着物セールを開催した。 ※着物セールについては、リサイクルショップの着物セールを参照。	35千円

(4)「田道ふれあい館まつり」

実施日	1月20日(土)10時～15時	主な経費
会場	田道ふれあい館	—
参加人数	約240人	
概要	田道ふれあい館に入っている全施設(田道住区センター・高齢者センター・在宅ケア多機能センター・シルバー人材センター・目黒区エコプラザ)の共催。目黒区エコプラザは、「バスボム作り」と「みんなで作ろう護美(ごみ)アート」、「ソプラノコンサート」を実施した。	



区民まつり おもちゃくじの様子



田道ふれあい館まつり
「みんなで作ろう護美アート」の様子

ボランティア参加状況一覧

延べ14人

事業実施月日	事業名	参加人数
6月20日(火)	子育てママのエコ入門(東山児童館)	1人
7月19日(水)	紙すきパルプづくり	1人
7月22日(土)	子育てママのエコ入門(油面住区センター児童館)	1人
8月2日(水)	サロン・エコライフ「紙パック de 紙すき体験」	3人
8月26日(土)	打ち水大作戦 in 田道ふれあい館	1人
9月22日(金)	xChangeの準備	1人
10月8日(日)	リサイクル着物セール	1人
10月8日(日)	おもちゃくじ	1人
1月20日(土)	田道ふれあい館まつり	1人
1月31日(水)	子育てママのエコ入門(向原住区センター児童館)	1人
3月14日(木)	子育てママのエコ入門(区民センター児童館)	2人

目黒区エコプラザ利用実績表

項 目		令和3年度(2021年度)実績	令和4年度(2022年度)実績	令和5年度(2023年度)実績
		目黒区エコプラザ	目黒区エコプラザ	目黒区エコプラザ
利用登録	新規登録者数	104名	94名	93名
リサイクル ショップ	受付点数	27,794点	31,177点	28,352点
	販売点数	22,903点	26,157点	25,991点
	販売金額	5,641,201円	7,573,425円	7,734,728円
図書	新規図書等情報入力件数	42件	40件	40件
	図書等貸出件数	230件	180件	134件
不用品 情報	不用品情報あげます登録件数	193件	294件	353件
	不用品情報あっせん成立件数	42件	33件	24件
活動室	団体登録件数	7件	4件	4件
	延利用回数 (午前・午後・夜間)	延169回	延263回	延271回

※ 利用登録数は、更新登録者も含む

令和 5 年度（2023 年度）
決 算

貸借対照表

(令和 6年3月31日 現在)

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 【資産の部】			
(1) 流動資産			
現金	298,263	270,609	27,654
普通預金	30,478,702	28,685,809	1,792,893
定期預金	15,627,301	15,627,036	265
未収入金	18,237	14,069	4,168
仮払金	0	0	0
商品	91,495	142,065	△ 50,570
前払金	1,620	1	1,619
流動資産合計	46,515,618	44,739,589	1,776,029
(2) 固定資産			
普通預金(特定)	0	0	0
定期預金(特定)	0	0	0
その他固定資産	896,280	1,792,560	△ 896,280
固定資産合計	896,280	1,792,560	△ 896,280
資産合計	47,411,898	46,532,149	879,749
II 【負債の部】			
流動負債			
未払金	3,929,699	3,975,776	△ 46,077
預り金	1,149,803	657,686	492,117
前受金	10,000	0	10,000
未払法人税・住民税等	555,400	1,057,400	△ 502,000
未払消費税	570,900	583,100	△ 12,200
流動負債合計	6,215,802	6,273,962	△ 58,160
固定負債			
退職給与引当金	0	0	0
その他固定負債	896,280	1,792,560	△ 896,280
固定負債合計	896,280	1,792,560	△ 896,280
負債合計	7,112,082	8,066,522	△ 954,440
III 【正味財産の部】			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	40,299,816	38,465,627	1,834,189
正味財産合計	40,299,816	38,465,627	1,834,189
負債及び正味財産合計	47,411,898	46,532,149	879,749

正味財産増減計算書

令和 5年4月1日～令和 6年 3月31日)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
【経常増減の部】			
[経常収益]			
1. 会費収入	488,000	440,000	48,000
2. 事業収入	35,252,023	34,893,997	358,026
3. 補助金等収入	37,656,497	36,872,460	784,037
4. 寄付金収入	0	0	0
5. 雑収入	333,515	2,930,298	△ 2,596,783
経常収益計	73,730,035	75,136,755	△ 1,406,720
[経常費用]			
1. プラザ受託事業費支出	31,120,938	31,401,086	△ 280,148
2. 協会事業費支出	40,219,508	39,378,048	841,460
経常費用計	71,340,446	70,779,134	561,312
当期経常増減額	2,389,589	4,357,621	△ 1,968,032
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	555,400	3,855,200	△ 3,299,800
当期正味財産増減額	1,834,189	502,421	1,331,768
一般正味財産期首残高	38,465,627	37,963,206	502,421
一般正味財産期末残高	40,299,816	38,465,627	1,834,189
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	40,299,816	38,465,627	1,834,189

令和5年度 一般会計 正味財産増減計算書（内訳）

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	488,000	440,000	48,000
法人賛助会員受取会費	320,000	320,000	0
団体賛助会員受取会費	90,000	60,000	30,000
個人賛助会員受取会費	78,000	60,000	18,000
② 事業収益	8,252,023	7,893,997	358,026
物品販売収入（リサイクルショップ）	7,734,728	7,573,425	161,303
物品販売収入（ショップ以外）	393,395	258,672	134,723
参加費収入	123,900	61,900	62,000
③ 受託料収益	27,000,000	27,000,000	0
区指定管理事業受託料収入	27,000,000	27,000,000	0
④ 受取補助金	37,656,497	36,872,460	784,037
受取区補助金	37,656,497	36,872,460	784,037
⑤ 受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
⑥ 雑収益	333,515	2,930,298	△ 2,596,783
受取利息	608	598	10
雑収益	332,907	2,929,700	△ 2,596,793
経常収益計	73,730,035	75,136,755	△ 1,406,720
(2) 経常費用			
① 事業費	60,930,794	60,087,392	843,402
事業人件費	50,806,227	50,372,227	434,000
給与	33,878,418	33,903,132	△ 24,714
賞与	8,467,988	8,075,843	392,145
臨時雇賃金	233,988	259,740	△ 25,752
法定福利費	6,866,950	6,807,098	59,852
福利厚生費	296,765	340,277	△ 43,512
通勤費	1,062,118	986,137	75,981
旅費交通費	58,667	49,155	9,512
通信運搬費	227,627	159,663	67,964
什器備品減価償却費	896,280	896,280	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	417,015	628,163	△ 211,148
修繕費	25,000	0	25,000
印刷製本費	645,476	574,875	70,601
使用料・賃借料	368,395	246,528	121,867
手数料	95,115	91,345	3,770
委託費	1,523,308	1,584,340	△ 61,032
燃料費	17,079	8,419	8,660
諸謝金	323,000	315,000	8,000
保険料	260,760	220,370	40,390
負担金	30,720	32,600	△ 1,880
租税公課	1,134,100	1,126,500	7,600
会議費	14,590	12,123	2,467
費用弁償	3,825,379	3,601,198	224,181
活動助成金	0	0	0
寄付金	6,985	5,940	1,045
雑損失	440	276	164
事業原価	254,631	162,390	92,241
期首棚卸高	142,065	72,170	
商品仕入れ	204,061	232,285	
期末棚卸高	91,495	142,065	

令和5年度 一般会計 正味財産増減計算書（内訳）

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増減
② 管理費	10,409,652	10,691,742	△ 282,090
管理人件費	6,745,300	6,888,281	△ 142,981
給与	4,820,912	4,972,403	△ 151,491
賞与	860,640	764,366	96,274
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	932,394	956,590	△ 24,196
福利厚生費	100,154	59,082	41,072
通勤費	31,200	135,840	△ 104,640
旅費交通費	6,859	3,796	3,063
通信運搬費	384,794	341,492	43,302
消耗品費	189,195	178,931	10,264
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
使用料及び賃借料	484,251	438,105	46,146
費用弁償	159,000	228,000	△ 69,000
諸謝金	186,000	111,000	75,000
負担金	68,800	59,500	9,300
手数料	96,203	107,063	△ 10,860
光熱水費	727,718	805,742	△ 78,024
委託費	1,360,480	1,402,782	△ 42,302
租税公課	1,052	127,050	△ 125,998
経常費用計	71,340,446	70,779,134	561,312
当期経常増減額	2,389,589	4,357,621	△ 1,968,032
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税住民税及び事業税	555,400	3,855,200	△ 3,299,800
当期一般正味財産増減額	1,834,189	502,421	1,331,768
一般正味財産期首残高	38,465,627	37,963,206	502,421
一般正味財産期末残高	40,299,816	38,465,627	1,834,189
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	40,299,816	38,465,627	1,834,189

財 産 目 録
(令和6年3月31日 現在)

(単位:円)

科 目	内 訳	金 額
『資産の部』		
I 流動資産		
(1) 現金	事務局 目黒エコプラザ	27,628 270,635
	小 計	298,263
(2) 普通預金	みずほ銀行 目黒支店 協会口座 指定管理口座 事務局口座 会費入金口座	5,243,155 19,526,846 22,582 1,258,039
	ゆうちょ銀行 ゆうちょ銀行 リサイクルショップ用	1,161,509 3,266,571
	小 計	30,478,702
(3) 定期預金	みずほ銀行 目黒支店	15,627,301
	小 計	15,627,301
(4) 前払金	前払金別紙内訳参照	1,620
		1,620
(5) 未収入金	未収入金別紙内訳参照	18,237
	小 計	18,237
(6) 商 品	棚卸商品等	91,495
	小 計	91,495
	流動資産合計	46,515,618
I 固定資産		
(1) リース資産	MRシステム・PCリース料	896,280
	小 計	896,280
	固定資産合計	896,280
	資産合計	47,411,898
『負債の部』		
II 流動負債		
(1) 未払金	未払金別紙内訳参照	3,929,699
(2) 預り金	預り金別紙内訳参照	1,149,803
(3) 前受金	前受金別紙内訳参照	10,000
(4) 未払法人税等	目黒税務署・東京都税事務所 (法人税555,400 消費税570,900)	1,126,300 6,215,802
	流動負債合計	6,215,802
III 固定負債		
(1) リース債務	MRシステム・PCリース料	896,280
	小 計	896,280
	固定負債合計	896,280
	負債合計	7,112,082
正味財産合計		40,299,816

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項ありません。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(3) 固定資産の減価償却方法

リース資産については、リース期間の定額法で計上しております。

(4) 引当金の計上基準

該当事項ありません。

(5) リース取引の処理方法

300万円以上のファイナンスリース取引については、リース資産に計上しております。

300万円未満のファイナンスリース取引については、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

2. 会計方針の変更

該当事項ありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当事項ありません。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当事項ありません。

5. 担保に供している資産

該当事項ありません。

6. リース債務当期末残高

896,280円

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりであります。

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
前払金	1,620	—	1,620
未収入金	18,237	—	18,237
合 計	19,857	—	19,857

8. 保証債務等の偶発債務

保証債務等は行っておりません。

9. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債権は保有しておりません。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末払残高	当期受領額	当期使用額	返還予定額	貸借対照表上の記載区分
補助金	目黒区	0	39,325,000	37,656,497	1,668,503	未払金

11. 指定正味財産から一般正味財産への振分額の内訳

該当事項ありません。

12. 関連当事者との取引の内容

該当事項ありません。

13. 重要な後発事象

該当事項ありません。

14. その他

該当事項ありません。

令和5年度 未収入金明細一覽

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

取 引 先 名	摘 要	金 額
(株)進栄化成	ペットボトルキャップ回収代金 令和4年度分	6,237
目黒ロータリークラブ	再生糸軍手販売	8,040
日本カーソリューション	自賠責差額相当分返金	3,960
合 計		18,237

令和5年度 未払金明細一覧

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

取引先名	摘要	金額
目黒区	補助金返還金 (人件費) (事) 751,945 (管) 573,200	1,668,503
	補助金返還金 (事業運営費) 委託費26,400+費用弁償12,708+助成金300,000+賃借料4,250=343,358	
目黒税務署	報酬源泉徴収 5件	8,575
協会職員	協会職員3月分超過勤務手当て	207,769
日本年金機構 目黒	社会保険料2月給与 478,905 3月給与446, 930	925,835
リサイクルショップボランティア費用	リサイクルショップ3月分ボランティア費用弁償	310,500
中戸川公認会計士事務所	3月分会計税務指導料等	68,398
アスクル	消耗品購入代金 3月分 事務局 34,417	37,057
	消耗品購入代金 3月分 エコプラザ 2,640	
(株) NTT東日本	電話料金2,3月分 事務局 15,018+16,556	63,034
	フレッツ光利用料2,3月分(8006-3686) 事務局 5,720*2	
	フレッツ光利用料2,3月分(1319-1869) エコプラザ 10,010*2	
(株) オキセ	複合機3月分リース料 エコプラザ 14,300	28,600
	複合機3月分リース料 事務局 14,300	
(株) エヌ・ティ・ティエムイー	メール加入契約料 3月分 4,213	4,213
みずほ銀行 目黒支店	Eビジネス契約料 3月分 5,500	12,260
	為替手数料 等 3月分 2,250+4,510	
コアレックス信栄 (株)	ワンタッチコアレス(トイレP) 販売商品	23,870
大塚商会(株)	ウィルスバスター・office365 3月分	37,565
日本移動教室	自然体験教室大型バス借り上げ	121,020
アートイディア	令和5年度スマートライフ保守費用	160,600
(株)プルアンドプッシュ	めぐろecoエコ大作戦 修正・印刷	251,900
合 計		3,929,699

(令和6年3月31日現在)

[illegible]

令和5年度 前受金 明細一覽

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

[illegible]

令和5年度 前払金 明細一覽

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

[illegible]